

校訓	真善美	令和5年度 学校だより	発行日	令和5年6月23日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる	「荒中だより」 6月 水無月 第9号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

教育実習生の先生方、3週間、ありがとうございました



今年の夏至は、6月21日でした。1年間の中で1番太陽の出ている時間が長く、太陽の力が最も強くなる日といわれていて、太陽の光を浴びた植物が、青々と成長して最盛期を迎える節目だそうです。



さて、1学期の期末テストが終わりました

が、全力を発揮することができましたか？ テストは、結果が大切です。ただその点数だけに一喜一憂するのではなく、間違っていた部分の中身の振り返りをしっかりと行ってください。特に、1週間前から毎日、担任の先生に見ていただいていた学習計画表の活用で成績が上がるヒントが隠されています。テストまでの時間をどのように使おうか計画をする。実際に取り組んでいく。予定通りには行かないので修正する。そして、テスト範囲をしっかりとやり終えて、復習し、テストに臨む。この計画と取り組みを繰り返すことで、自分に合った時間の使い方をみつけることができるのです。テスト前だけでなく、学習や部活、習い事などで忙しい中学生です。自分の時間を計画的に使えるよう、日頃から意識して生活できるようところがけてください。1日24時間。1年365日。与えられた時間は、限られています。

今日は6月5日から3週間にわたって行われてきた教育実習の最終日でした。

「自分から先にあいさつをする」を心がけて、先生方にたくさんのことを教えてもらえましたか？ 先生方との出逢いも『一期一会』の財産です。先生方が、荒中生だったときの荒中についてお伺いしました。「明るく元気な子が多く、部活動では、良い成績を残している人が多い。」「あいさつを徹底した活気ある学校で、勉強と部活動を両立している生徒が多い学校でした。」荒中生としての伝統『あいさつ、文武両道、明るく元気で活気あふれる校風』をしっかりと継承していきましょう。